

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）令和6年度実績

事業名	地域内経済循環創出に向けた SDGs「認証」制度の構築及び市民行動の促進			担当課	未来都市推進課		
事業の概要・目的	豊田市 SDGs 認証制度の構築・運用、SDG s 担い手育成事業（ローカル SDGs に関する理解促進ツールの制作及びそれを活用するファシリテーターの養成）、SDG s 情報発信事業（デジタルの活用等による地域・市民への訴求と活動の見える化）を行うことによって、地域事業者及び市民の SDG s 達成加速化、地域内経済の好循環創出及び持続可能な地域づくりをはかることを目的とする。						
交付金を充当する事業経費	1. 認証制度プロモーション及び「登録」から「認証」への移行サポート事業費 961,190 円 説明会／個別支援・コンサルティング 2. 認証審査・チェック委託（2023 年運用開始後～）費 2,204,189 円 説明会／認証審査（書面審査・現地調査・ヒアリング等）／個別支援 3. 人材育成「SDG s 担い手養成講座」 事業費 1,628,000 円 前年度に制作した理解促進ツール「とよた SDGs マスター」を使うファシリテーターを養成し、将来的には、市内各所での自律的な実施を目指す。 1 期につき 5 回の連続講座を実施（定員：60 人） 4. とよたSDG s 推進プラットフォーム 運用費用（保守・更新） 495,000 円 活動や成果の共有、ステークホルダーとの連携の見える化						
総事業費	5,288,379 円	交付決定額	3,700,000 円	交付金充当経費	2,644,189 円	不用額	1,055,811 円
事業始期	令和 6 年 4 月			事業終期	令和 7 年 3 月		

K P I ①	「経営力高度化事業補助金」の交付件数	基準値	0 件	R 6 目標値	100 件	実績値	124 件	達成状況	①
K P I ②	とよた SDG s パートナー「認証」団体数	基準値	0 件	R 6 目標値	50 件	実績値	27 件	達成状況	③
K P I ③	SDG s 関連イベント等参加者数（とよたエコフルタウン開催イベント含む） + SDG s 担い手育成講座受講者数	基準値	3,000 人	R 6 目標値	500 人	実績値	2,589 人	達成状況	①
K P I ④	パートナー連携 共働事業件数	基準値	10 件	R 6 目標値	10 件	実績値	16 件	達成状況	①

※達成状況： ①達成⇒ 達成状況 100%以上 ②概ね達成⇒達成状況 70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況 50%以上 ④未達成⇒達成状況 50%未満

取組実績	検証・評価	令和7年度取組の方向性	
認証受付を2回実施、35事業者が参加し、うち27者を認証。式典及びこれに合わせた講演会を実施した。担い手育成では体験会1回と養成講座2回を実施し、ファシリテーター35名を育成したほか、フォローアップのための研修を2回実施。イベントとしては、そのほか交付金の対象とはしていないものの、博物館を活用したイベントを実施し、約1,500名が参加した。	認証制度は、前年度に比べて申請者数が低調となった。関心の高い層を前年度に概ね受け止め切ったとも考えられるが、地域事業者の関心を高め、今後の参加企業を増やすための工夫が必要。その他のKPIは順調に推移した。特にとよたSDGsパートナーによる活動は活発に行われており、共働事業件数は目標値を大幅に上回っている。	方向性	⑤完了

※方向性： ①拡大して実施（事業内容・規模の拡大） ②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上） ③継続実施（同規模実施） ④縮小 ⑤完了

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）令和6年度実績

事業名	世界ラリー選手権（WRC）をいかした三河・東濃地域の山村及び産業振興に向けたまちづくり事業				担当課		ラリーまちづくり推進課	
事業の概要・目的	日本で初めて地方自治体が主体となって世界ラリー選手権（以下「WRC」）を開催し、愛知県豊田市及び岐阜県恵那市を中心とする三河・東濃地域で官民が連携して「ラリーをいかしたまちづくり」を進め、山村振興と産業振興を図る。							
交付金を充当する事業経費	1 WRC 継続開催による地域活性化事業 ・ WRC 競技費 74,299,528 円 ・ イベント開催・チケット販売料等 149,721,972 円 2 WRC 開催とそのインパクトを生かした地域活性化事業 ・ 都市部及び山村部での賑わい事業費等 18,700,000 円 3 クルマを安全・安心に楽しめ、環境問題の解決に寄与する事業 ・ TGR ラリーチャレンジ開催支援 3,578,076 円 ・ 官民連携によるクルマを楽しめるまちづくりの推進 3,700,424 円							
総事業費	500,000,000 円	交付決定額	250,000,000 円	交付金充当経費	250,000,000 円	不用額	0 円	
事業始期	令和 6 年 4 月				事業終期	令和 7 年 3 月		

K P I ①	豊田市及び恵那市における主な観光施設やイベントの年間観光入込客数	基準値	14,710,000 人	R6目標値	15,730,000 人	実績値	12,863,185 人	達成状況	②
K P I ②	WRC やモータースポーツに関連するイベントの集客数（のべ人数）	基準値	—	R6目標値	700,000 人	実績値	565,300 人	達成状況	②
K P I ③	WRC に関連するイベント開催における豊田市及び恵那市への経済波及効果	基準値	—	R6目標値	83 億円	実績値	130 億円	達成状況	①
K P I ④	関連企業の自動車販売台数（登録車）	基準値	145 万台	R6目標値	165 万台	実績値	141 万台	達成状況	②

※達成状況： ①達成⇒ 達成状況100%以上 ②概ね達成⇒達成状況70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況50%以上 ④未達成⇒達成状況50%未満

取組実績	検証・評価	令和7年度の取組の方向性	
(概要・具体的な数値・回数も合わせて記載) 豊田市が主催となり2回目のWRCを開催した。この大会を契機に、各種プロモーションイベントの開催、地方ラリーの開催のほか、大会機運のためのまちなか装飾や交通安全や環境問題を学ぶラリー教室を開催した。	大会全体の有料観客来場者は54万人を超える来場があり、多くの方にラリーを楽しんでいただけたと評価する。今後もラリーファンの裾野を広げラリー文化の定着に向けた取組を続けていく必要がある。	方向性	③継続実施（同規模実施）
		・ラリー文化の定着に向け、各種イベントやPR活動を展開する。 ・WRC2026の継続開催に向けた準備を進めるとともに、大会機運を盛り上げるため、ラリーをいかしたまちづくり事業を展開する。	

※方向性： ①拡大して実施（事業内容・規模の拡大） ②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上） ③継続実施（同規模実施） ④縮小 ⑤完了